

不識塾

fushiki-juku

リベラルアーツ研修のご案内



「変容」し「脱皮」することを支援する

不識庵のリベラルアーツ研修の中で、「不識塾」は最も歴史が古く、過去二十四年にわたる本研修の修了者は六〇〇人を超えます。その中から、多数の大企業経営トップを輩出しております。受講者の多くは大手企業の部長クラスで、将来の経営トップを目指す方に最適なコースです。

二十一世紀に入つて世界は大きく変わり、従来の考え方では企業経営が立ち行かなくなっています。ますます不透明感が増大しつつある現代世界で、経営の舵を正しく取るには何が必要でしょうか。現在起こうている地殻変動の根本にあるものは何か、それを理解しない限り、経営の根本を見直すこともできません。そのためには、自らのバイアスを自覚・認識し、経営幹部の皆さんのが「変わることではないでしょうか。リベラルアーツを学ぶことで得られる効用は、簡単に言ってしまうと、まさに、「自分を客観的に見る訓練になる」、「自分の中のOSをバージョンアップできる」ということです。

実際に「不識塾」はどのような場であったか。経営を担う修了生からは、「リベラルアーツの学びを通して、ビジネスの込み入った場面に立ち向かう軸を育む場であつた」、「目前の状況を、歴史(時間軸)と世界(空間軸)から捉え直すことで、その本質を見る智慧を得た」、

「1か月にわたる熟考と熟議の経験がビジョンを描くうえで重要な下支えとなつていて」というような声が、毎年のように寄せられています。

気候変動や新たな冷戦、ロシア・ウクライナ戦争など、激変している世界においては、小手先のスキルにとどまることなく、人類文明が持つ諸課題に対する根本的な理解が求められています。「不識塾」は、このような現代世界の諸問題についての歴史観、大局観の養成に役立つプログラムを提供し続けてきました。

この二十数年にわたって「不識塾」がやろうとしてきたことは、リベラルアーツの学びを通じて、人が「変わる」ほどの深い知的刺激と好奇心を与え続けるという作業だったと言えるかもしれません。

「不識塾」が目指しているのは、皆さんが「知る」と「通じて」「変容」し、「脱皮」することを支援することにあります。

不識庵代表

中谷 岩



組織概要

名称	株式会社 不識庵	住所	東京都千代田区内神田1-14-4 4F
創業	平成22年(2010年)2月22日	電話	03-3292-0320
代表取締役	中谷巖	お問い合わせ	office@fushikian.jp
活動内容	大手企業経営幹部向けの「不識塾」、中堅ビジネスリーダー向け「青天白雲塾」に加え、個別企業のニーズに応じた企業内研修(中堅管理職、部長研修、役員研修など)についても随時、相談に応じております。		

塾の詳細、応募方法については、ホームページも合わせてご覧ください。 www.fushikian.jp



2026年度 募集概要

目的	歴史的、文明論的視点から人類が直面している問題の根本にあるものを抽出し、その克服案を探すことによって、経営革新の一助となることを目指す。
対象	将来、経営を担うと嘱望されている人材。執行役員、もしくは部長クラスの方々。
期間	2026年5月中旬～2027年2月中旬 ※ただし、4月より事前課題あり
合宿	フィールドワーク(3～5日の国内外研修)のほか、1泊2日の国内合宿を適宜実施 (国内合宿の交通費を除き、受講料に含まれます)
教材	必要に応じ随時配布します
定員	約30名（定員になり次第、締め切らせていただきます）
申し込み	第一次募集締め切り…2025年12月末日 第二次募集締め切り…2026年2月末日 (第一次募集で定員充足の場合、第二次募集は中止します)

「不識塾」の概要・実績

◆リベラルアーツ研修の豊富な実績

「不識塾」は二十年以上にわたる大手企業の経営幹部を対象にした研修の実績があり、本格的なリベラルアーツ研修を実施する過程で、各分野の専門家との強力な知的ネットワークを築きあげてまいりました。これが「不識塾」の最大の強みの一つです。

◆講師、師範、塾生間の

「双向の対話」

リベラルアーツは非常に幅が広く、また奥が深いため、トップクラスの専門家数名に「師範」になつていただき、カリキュラム作成や講座運営について協力いただいています。講義を拝聴するという受け身の研修ではなく、与えられた課題についてモジュールごとに5～7名のグループが全員の前でプレゼンを行います。その後、講師や師範を交えた議論へ移りますが、プレゼンをグループ毎に創り上げるプロセスが塾生間の相互研鑽に大きな力を発揮します。

◆講座内容についてのファイードバック

塾生を派遣していただきたいとする企業の経営者や関係部署の皆様に対し、講座の活動内容を詳細にお伝えするニュースレターをお送りいたします。さらに、著名講師を招いた公開講座を毎年開催し、派遣元企業の皆様をご招待いたします。

修了生の声



株式会社大和証券グループ本社
代表執行役社長 CEO

荻野 明彦

不識を胸に

塾での醍醐味は、課題についての表層的な部分を剥がし、深層に入り込んでいく過程で、自分の経験や文献等で得られた知識をもとに、異なるバックグラウンドを持つ仲間と議論し、意見を共有していくところにありました。

プロダクトのライフサイクルが短命化している中、変化の激しい表層的な現象に惑わされず、本質を見抜いて対応していく姿勢はどこの企業でも求められます。

言うは易し。実践で答えが簡単に見つかるわけではありませんが、いくら学んでもまだ足りない「不識」という文字を胸に刻み、今も発展途上の自分を、組織を鼓舞し続ける日々が続いています。

(2013年度受講12期生)



ダイキン工業株式会社
代表取締役社長 兼 COO

竹中 直文

人を知り、己を突き詰める

企業経営を取り巻く環境変化が激しく、先行きが不透明な時代。不識の中にあって本当に大事なものは何か、価値あることは何か、決断するのは己であり、そのための見識、実践力を体得する場が不識塾でした。

リベラルアーツを通しての知的格闘、塾生同士の切磋琢磨は「人を知り」、「己を突き詰める」ことに他なりません。人生観や価値観の土台となる見識、物事の本質を掴む力、大局観を持つことで目の前の景色が変わること、その上で己の志をどこにおくかを学ぶ10ヶ月間の議論はまさに「君と一夕話、読むるに勝る十年の書」がありました。人は人により磨かれ、人と人の間で新たな知恵や価値を創造する喜びを体得できたことこそが単なる知識教育で終わらない塾の魅力だと思います。

(2012年度受講11期生)

これまでの主な派遣企業(50音順)

味の素株式会社	スカパーJSAT株式会社	株式会社日清製粉グループ本社
アスクル株式会社	住友商事株式会社	日本郵政株式会社
出光興産株式会社	住友林業株式会社	日本郵船株式会社
伊藤忠商事株式会社	ソニー株式会社	NIPPON EXPRESSホールディングス株式会社
インフロニア・ホールディングス株式会社	武田薬品工業株式会社	株式会社博報堂
AGC株式会社	株式会社竹中工務店	東日本旅客鉄道株式会社
ANAホールディングス株式会社	ダイキン工業株式会社	株式会社日立製作所
SCSK株式会社	株式会社ダイセル	BIPROGY株式会社
NTT株式会社	株式会社大和証券グループ本社	富士フィルム株式会社
株式会社NTTドコモ	大和ハウス工業株式会社	株式会社ベネッセホールディングス
ENEOSホールディングス株式会社	中外製薬株式会社	株式会社ポーラ・オルビスホールディングス
沖電気工業株式会社	帝人株式会社	ポリプラスチックス株式会社
株式会社オリエンタルランド	テルモ株式会社	三井不動産株式会社
オリックス株式会社	DIC株式会社	株式会社三菱UFJフィナンシャル・グループ
関西電力株式会社	株式会社デンソー	明治ホールディングス株式会社
株式会社クラレ	東急株式会社	横河電機株式会社
株式会社小松製作所	株式会社東芝	楽天グループ株式会社
サッポロホールディングス株式会社	東レ株式会社	株式会社リクルート
サントリーホールディングス株式会社	株式会社トプコン	株式会社リコー
信越化学工業株式会社	トヨタ自動車株式会社	株式会社良品計画
JFEスチール株式会社	日産自動車株式会社	レンゴー株式会社

「不識塾」カリキュラム概要(2025年度)

4月

事前課題に取り組む

「不識塾」が厳選した基礎的な書籍を開講前に読み、レポートを書く。これによって、人類史、世界の文明、宗教、哲学など世界を理解するための基礎的な考え方、歴史観や大局観を養う。開講日に事前課題をベースにした討論会を実施する。

5月

第一モジュール

哲学・思想 基礎講座

6月

諸文明の宗教、思想、価値観を概観したうえで、道徳的な対立やジレンマに対する哲学的・倫理学的なアプローチを学び、現代世界が直面する倫理的課題を考察するための基礎的な思考力を養う。

7月

第二モジュール

日本をより深く知るための フィールドワーク

9月

第三モジュール

現代世界と 人類文明の将来

12月

生成AIと人類文明、加速する格差社会、トランプ現象と「近代の終焉」、民主主義の頽落と世界分断など、現代世界が直面している諸問題の根幹にあるものを学ぶ。人類はどうすれば混迷を深める世界から脱出できるのか。新しい資本主義論、倫理学や制度の経済学などの視点から究明していく。

1月

第四モジュール

コーポレート・ガバナンスと 自社への提言

2月

コーポレート・ガバナンス改革の問題点と経営者の真の役割について、第一～第四モジュールでの知見を使いながら、ゼミ形式で考える。その成果を塾生一人一人が「自社への提言」という形で発表する。

これまでの主なゲスト講師(敬称略・50音順)

会田弘継	ジャーナリスト・思想史家	佐藤弘夫	東北大学 名誉教授・東北大学日本学国際共同大学院文学研究科・文学部 教授
青柳正規	東京大学 名誉教授・元文化庁長官・多摩美術大学 理事長	佐藤 優	作家・元外務省 主任分析官
故 五百旗頭真	防衛大学校 名誉教授・神戸大学 名誉教授・兵庫県立大学 理事長	白石 隆	政策研究大学院大学 元学長 名誉教授・熊本県立大学 前理事長
猪木武徳	国際日本文化研究センター元所長・大阪大学 名誉教授	朱 喜哲	大阪大学社会技術共創研究センター 招へい准教授
岩井克人	東京大学 名誉教授・国際基督教大学 特別招聘教授	中島隆博	東京大学東洋文化研究所 所長 教授
遠藤 乾	東京大学大学院法学政治学研究科 教授	中島岳志	東京科学大学 リベラルアーツ研究教育院・環境社会理工学院 教授
大澤真幸	社会学者	納富信留	東京大学大学院 人文社会系研究科 教授・東京大学文学部長
大屋雄裕	慶應義塾大学 法学部 教授	故 野中郁次郎	一橋大学 名誉教授
岡本隆司	早稲田大学教育学部 教授・京都府立大学 名誉教授	橋爪大三郎	社会学者・東京科学大学 名誉教授
小川さやか	立命館大学大学院 先端総合学術研究科 教授	古田徹也	東京大学大学院 准教授
片山杜秀	慶應義塾大学法学部 教授	三谷 博	東京大学 名誉教授
龜山郁夫	名古屋外国語大学 学長・東京外国语大学 元学長	森本あんり	国際基督教大学 名誉教授・東京女子大学 学長
菅野覚明	東京大学 名誉教授・皇學館大学 特別招聘教授	山折哲雄	宗教学者
北岡伸一	国際協力機構(JICA) 前理事長・東京大学 名誉教授	山極壽一	総合地球環境学研究所 所長・京都大学 前総長
小杉 泰	京都大学 名誉教授・立命館大学 立命館アジア・日本研究機構 教授(立命館大学アジア・日本研究所長)	山下裕二	明治学院大学文学部芸術学科 教授
児玉 聰	京都大学大学院 文学研究科教授	賴住光子	駒澤大学仏教学部仏教学科 教授
小原克博	同志社大学 学長 神学部教授	渡辺 靖	慶應義塾大学 環境情報学部 教授